



研修医日記

作成者：内山 慈子（2年次）

2年次研修医となりました。内山です。桜も散り始め、暖かい日が増えてきた今日この頃、皆様どのようにお過ごしでしょうか。本来の研修医日記の担当期間は1年次のうちのはずだったのですが、提出期限を過ぎて、あれよあれよという間に2年次になって1ヶ月が経とうとしています。驚きが隠せません。この1ヶ月ほどで様々な変化がありました。

まずは2年次研修医になったことです。ついこの間までは1学年上の先輩方がいて、とても心強く安心感のある中でおのびのびと研修しておりましたが、研修を終えた先輩方はそれぞれ別の病院に移動されてしまいました。率直にとてもさみしいです。今は新しく5人の研修医の先生方が来てくれて楽しく過ごしていますが、私にとっての先輩方のように頼りになる存在になれる気が全くしません。それでも、少しでも力になれるようにサポートしていけたらと思っています。

次は小児科学会に参加させていただいたことです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学生の頃を含めても学会というものに参加したことがありませんでした。4月14日～16日に東京都で開催されたのですが、まず参加人数の多さに驚きました。また参加した学会が小児科の総会でだったので、小児にまつわる様々な分野の講演をたくさん聴くことができ、とても勉強になりました。たくさんの会場で様々な発表がなされているので、まるでお祭りの露店を回るかのごとき楽しさでした。

最後は新年度1回目のERカンファを担当させていただいたことです。当院の研修医では救急外来で経験した、典型的な症例・診断に迷った症例等を研修医内で共有し議論するカンファレンスを行っています。慣れないことも多く手探りな部分もありますが、まずは初回を開催できてほっとしています。上級医の先生方が何名か同席してくださり、アドバイスや総括などもいただけるカンファレンスになっているので、研修医のみならず、実習や見学に来ている学生さんにもぜひ参加いただき、むつでの研修のイメージなんかを膨らましてもらえたら嬉しいです。今後は気楽に意見を出せるような雰囲気やっていけたらいいなと思っています。

だいぶ長くなってしまいましたが、文字におこしてみると色々あったもんだなあとしみじみしています。最後のERカンファに関してはちょっと学生さんの勧誘みたいな感じになってしまいましたが、ぜひ気軽に見学などいらしてください。初期研修も折り返し。これからますます日々精進して参りますのでご指導のほどよろしくお願ひします。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。